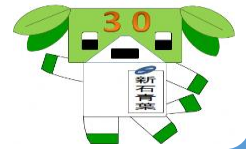


まなびをひらげよう!② 「いろいろ 連想ゲーム」



おうちで、毎日がんばっている新小っ子のみなさん! 前回の「いろいろしりとり」は、楽しめましたか。

言葉や漢字は、たくさんつかうと、自分のものになります。言葉がゆたかにつかえると、自分の気持ちや考えを友だちにしっかり伝えやすくなりますよ。

今日は、1つの文字や漢字から、次々に連想していけるような活動をよういしました。先生たちから出された課題が、ちょっと早くおわったら、ぜひチャレンジしてみませんか。

連想ゲーム①「ことばパズル」(全学年におすすめ)

【よういするもの】○50音カード(紙や画用紙を小さく切ったもの50まいに、「あ」~「ん」を書く)
【やりかた】

①50音カードで、好きな言葉をつくってなれます。

あ ひ る

②その中から1まいのカードをひきます。

あ ひ る

③ひいたカードをさいしょの文字にして、新しい言葉をつくってなれます。

ひ ま わ り



ひとりでもできますが、おうちの人とじゅんばんにやると、もっと楽しいです。カードづくりから、楽しんでやってみてください。「^{だくてん}」や「^{はんだくてん}」のカードを入れたり、50音カードをもう1セット作って文字をふやしたりしてもいいですね。ひらがなだけでなく、習った漢字をカードに書いて、熟語パズルにすることもできます。



連想ゲーム②「『ん』がつく言葉をさがせ！」(全学年におすすめ)

【よういするもの】○紙(ノートだと、字の大きさがそろって、よりきれいに書けます。)

○えんぴつ

○国語辞典(なくてもできます。)

【やりかた】

①紙に「○ん○」という3文字の言葉を考えたり、国語辞典で調べたりして書いただけ!

*「まんが(漫画)」など

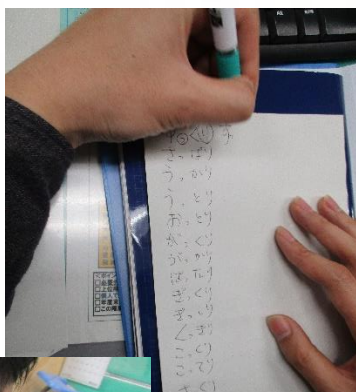
②「○ん○ん」という4文字の言葉さがしにもチャレンジしてみましょう。

*「あんしん(安心)」など

ふだん何気なく使っている言葉を、同じ仲間になるように思い出していくと、とても頭を使いますね。
この「思い出す」という作業が、言葉をおぼえるために、とっても大切だと言われています。

「ん」はつきませんが、「○っ○り」という言葉(「ゆっくり」など)も、実はたくさんあります。

ぜひチャレンジしてみてくださいね!



せんせい 先生たちも、ちょうせん!

「○っ○り」という言葉を、3分間でいくつあるか書き出してみたよ。

せんせい 先生たち、と———つてもしんけんでした。結果は……

はやのせんせい 早野先生(5年)→22こ、儀賀先生(6年)→23こ、小西先生(5年)・

いっぺいせんせい 一平先生(6年)→25こでした。

そして、1位は、2年生の芹川先生! 26こも集めていたよ。

「たのしかったあ!」と言ってくれて、この活動をしようかいた今野先生も、うれしそうでした。みんなも、ぜひちょうせんしてみてくださいね。

連想ゲーム③「漢字クロスワードパズル」(2年生以上におすすめ)

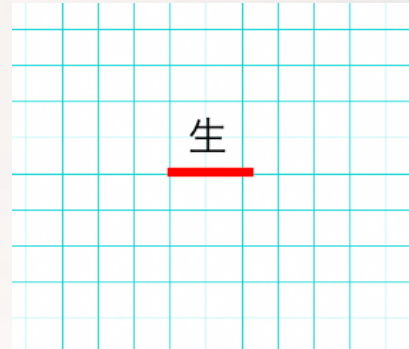
【よういするもの】○まず目のあるノート(なければ、紙でもできます。)

○えんぴつ

【やりかた】

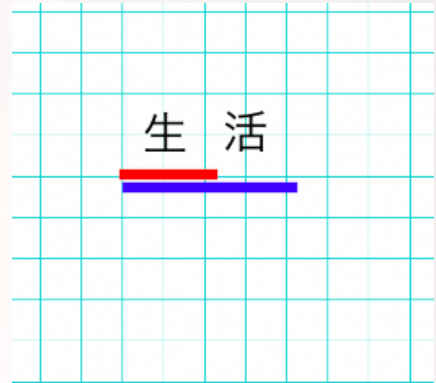
①紙(ノート)のまんなかあたりに、すきな漢字を

1文字書きます。



②さいしょに書いた漢字につながるような熟語を

考えて、書きます。



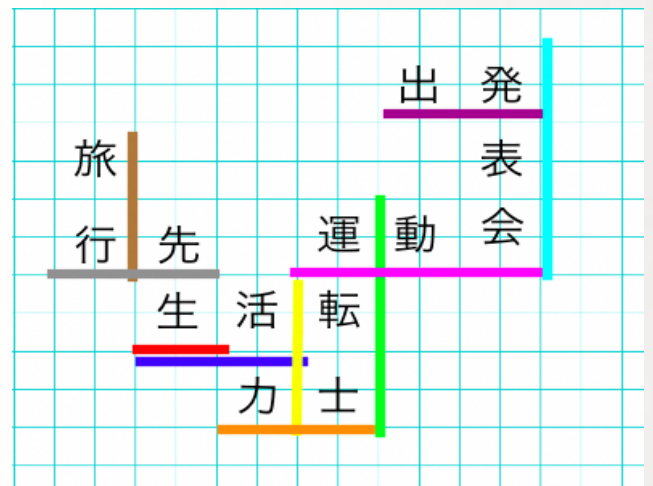
③思いつく熟語を、どんどんつなげて書いていきます。

漢字がつながっていれば・・・

*読み方が変わってもだいじょうぶ!

*ぐうぜんとなり合った漢字が、

必ず熟語にならなくてもだいじょうぶ!



持っている人は、漢字辞典で調べてみると、自分の知らなかった熟語に出合えていいですね。

また、熟語の意味がわからなかったら、国語辞典で調べると、さらに力がつきます。

いろいろなことをセットにしながらおぼえていくのも、おすすめのほうほうですよ。



れんそう かんじれんそう
連想ゲーム④「漢字連想ゲーム」（4年生以上におすすめ）

【よういするもの】○紙（ノートだと、字の大きさがそろって、よりきれいに書けます。）

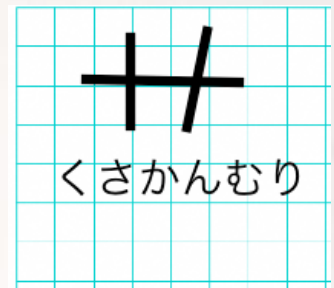
○えんぴつ

○漢字辞典（なくてもできます。）

【やりかた】

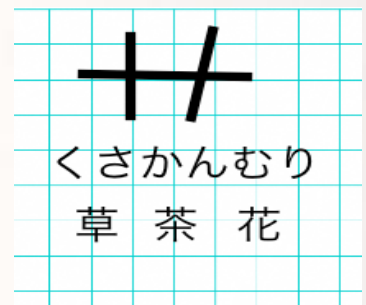
①漢字の部首を1つ選びます。

【おすすめの部首】



②選んだ部首がつく漢字を、5分間で紙にどんどん書き出していきます。

いくつ思い出せるかな。



たくさんの漢字をおぼえてきた、高学年におすすめの漢字学習方法です。
 部首ごとに集めた漢字を見てみると、「月(にくづき)」は、体に関係ある漢字など、漢字の成り立ちに目を向けることができます。たくさんおぼえてきた漢字を、こうやって整理することで、自分が漢字を使うときに、まよいにくくなります。

おうちの人と競ってみたり、最後の2分は漢字辞典を使って調べてもオッケーにしたりするなど、自分のやりかたもくふうしながら、ちょうせんしてみてください。

他の部首や、漢字のつくりについての説明などは、インターネットの「ちびむすドリル3ステップ学習」のサイトにも、わかりやすいポスターがのっていましたので、参考にしてみてくださいね。

https://happyilac.net/pdf/2019-poster_5.pdf

